

課題名	保育士等キャリアアップ研修受講者を対象としたアレルギー研修受講の機会と疾患認識の調査
承認番号	2022-4 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 小児科/アレルギーセンター小児科 氏名 磯崎 淳
研究期間	(西暦) 2022年6月 ~ (西暦) 2022年10月
研究の意義・目的	食物アレルギーをはじめ様々なアレルギー疾患に対する社会的対応の需要が増し、保育施設でもその対応が求められています。アレルギー疾患対策基本法が施行され、研修会等の機会も増加していると推測されますが、その実態は定かではありません。また、保育施設職員のアレルギー疾患への認知・理解度も明らかではありません。保育関連職員におけるアレルギー研修の機会およびアレルギー疾患に対する認識や理解度を明らかにすることが、本検討の目的です。
研究の方法 (対象期間含む)	保育施設関連職員を対象とした。東京都から一般財団法人・保健福祉振興財団へ研修の委託(2021年8月26日、10月14日、12月2日)および横浜市主催(2021年8月19日)の保育士等キャリアアップ研修参加者を対象に、アンケート調査を実施しました。研修開始前にアンケートを記載し回収しました。アンケートは無記名とし、実施に当たっては、個人情報公表されないこと、プライバシーは遵守されること、結果は学会等で公表すること、賛同される参加者のみ対象となることを明記し、調査へ参加しない機会を設けました。背景として、年齢、性別、職種、保育施設での職歴を、内容として研修までに何らかのアレルギー研修への参加の有無、保育施設を対象とした研修会への参加の有無を調査した。アレルギー疾患の認知、疾患の理解としてアナフィラキシー、アドレナリン注射薬の使用、食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎について、記載を依頼しました。今回、このアンケート結果を検討、全体の集計と各結果について職種別に保育士と栄養士・調理士での比較を行います。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供される場合はその方法を含む)	アンケート用紙は研究責任者が、施錠できる机の引き出し・ロッカー等にて厳重に管理し、研究終了後すみやかにアンケート用紙はシュレッダーにて廃棄します。
利用又は提供する 試料・情報の項目	アンケート記載内容:年齢、性別、勤務経験年数、アレルギー研修参加の有無、アレルギー疾患対策基本法への認知度、アレルギー疾患への理解・認知度、アドレナリン自己注射薬(手技を含む)の認知・理解度
試料・情報を 利用する者の範囲	研究責任者:磯崎 淳 共同研究者:安藤枝里子、小張真吾、松尾晶子、飯尾知輝
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立みなと赤十字病院 所属 小児科/アレルギーセンター小児科 氏名 磯崎 淳
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 小児科/アレルギーセンター小児科 氏名 磯崎 淳 TEL:045-628-6100(代表) 内線3808(事務局) / FAX:045-628-6101